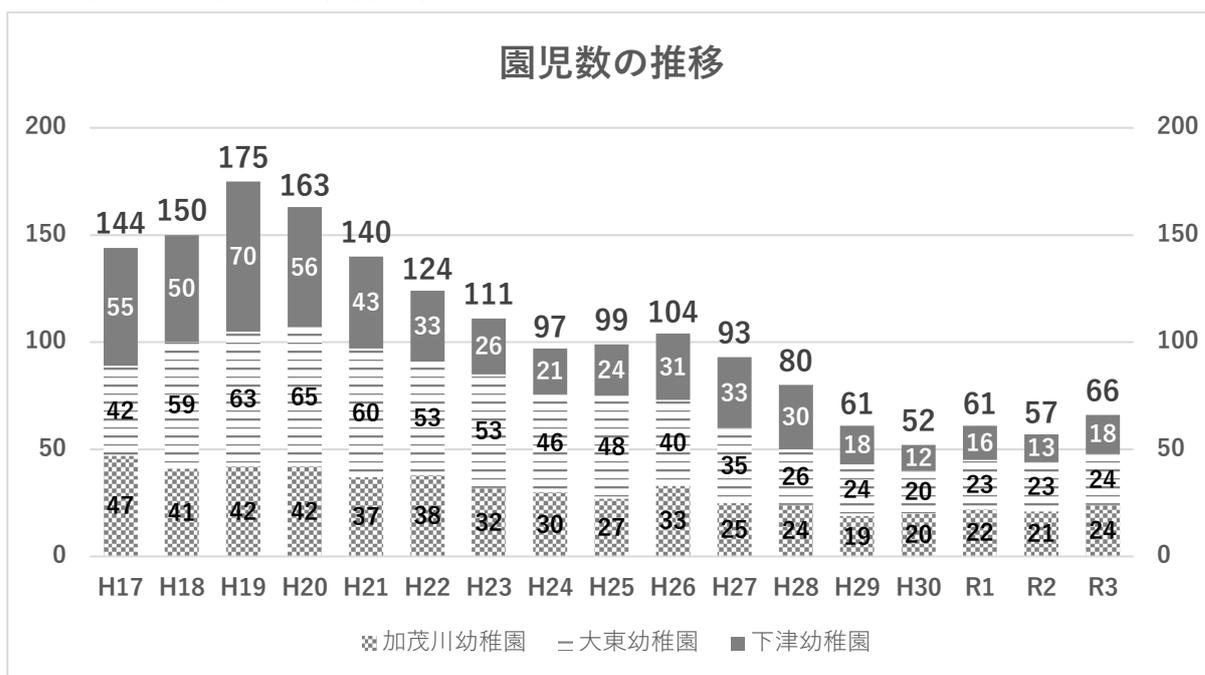


# 下津町地域の幼稚園3園の統合について

## 1 下津町地域の幼稚園の現状

### (1) 園児数の推移

本市の出生数は減少傾向にあり、旧海南市と旧下津町が合併した平成17年度には約400人だったが、近年は260人前後で推移している。それに伴い、下津町地域の幼稚園の園児数も減少し、下津幼稚園の園舎が新築された平成19年に3園で175人（3歳児：49人、4歳児：57人、5歳児：69人）いた園児が令和3年には66人（3歳児：17人、4歳児：16人、5歳児：33人）と約3分の1の規模になっており、特に平成29年以降は、ほとんどの学年で園児が10人を下回る状況となっている。



		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
加茂川幼稚園	3歳	16	7	11	17	9	12	9	11	7	13	4	7	7	4	10	5	4
	4歳	14	19	11	12	16	10	13	7	12	8	13	4	8	8	4	13	5
	5歳	17	15	20	13	12	16	10	12	8	12	8	13	4	8	8	3	15
	計	47	41	42	42	37	38	32	30	27	33	25	24	19	20	22	21	24
大東幼稚園	3歳	13	21	17	22	16	11	21	13	11	9	10	6	7	5	7	7	6
	4歳	16	20	24	19	24	17	12	21	14	15	10	10	7	8	7	9	8
	5歳	13	18	22	24	20	25	20	12	23	16	15	10	10	7	9	7	10
	計	42	59	63	65	60	53	53	46	48	40	35	26	24	20	23	23	24
下津幼稚園	3歳	18	15	21	11	10	6	6	7	10	13	8	5	5	3	8	2	7
	4歳	14	18	22	22	12	12	7	6	7	10	15	9	4	5	2	9	3
	5歳	23	17	27	23	21	15	13	8	7	8	10	16	9	4	6	2	8
	計	55	50	70	56	43	33	26	21	24	31	33	30	18	12	16	13	18

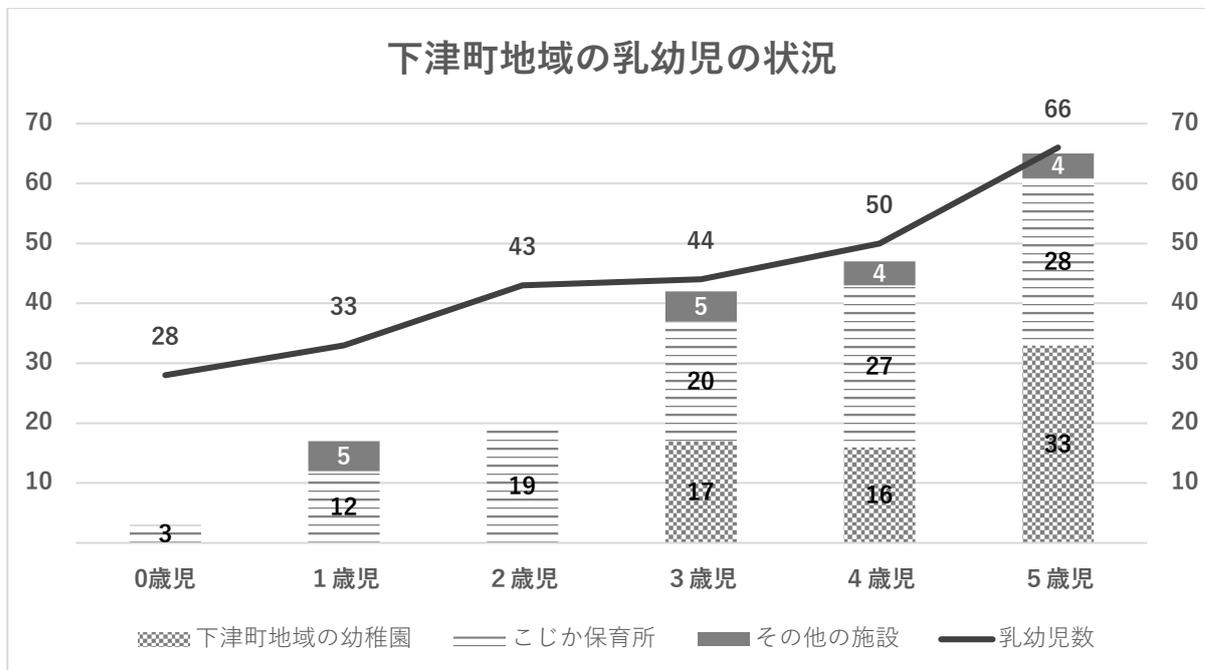
(各年5月1日現在)

※白抜きは10人未満のクラス

## (2) 園児数の今後の見込み

現在の下津町地域における0歳から5歳までの乳幼児の状況を見ると、5歳児の66人に対して0歳児が28人と急激に減少しており、顕著な減少が見られる。

また、幼稚園に就園する子の割合は3割から5割程度となっており、幼児教育・保育の無償化や共働き世帯の増加等による保育ニーズの高まりを鑑みると、今後、幼稚園の園児数が大きく増加することは見込めない状況となっている。



## 2 少人数化によって生じる課題

### (1) 教育上の課題

幼稚園教育要領（平成29年3月31日文部科学省告示第62号）では、「幼稚園教育において育みたい資質・能力及び『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』」が示されており、幼稚園では、これらの姿を踏まえて教育課程を編成し、計画的に教育活動を行っている。

これらの資質・能力は、集団生活を通して他者（他の幼児、教諭等）との関わりを深める中で培われるものであるが、少人数の中でこれらの経験を積ませることは非常に困難であり、異年齢保育等の工夫により一定の経験はできるものの、それぞれの年齢の発達段階に合わせた教育を行う上では課題がある。

### (2) 園運営上の課題

幼稚園の年間運営費は、近年、約2億円（海南市内7園合計）で推移している。施設の老朽化により今後一層の修繕費が見込まれる中、園児数が減少することで園児1人当たりの経費が増大するほか、園児数が少なくても各学年に担任教諭を配置する必要があることなどから、小規模な園は他の園に比べて財政面、人員配置面で非効率な運営となっている。

	H28	H29	H30	R1	R2
決算額(円)	229,213,281	237,132,964	196,723,120	214,874,960	199,791,882
公立幼稚園数(園)	9	9	7	7	7

### 3 下津町地域の幼稚園の今後の方向性

下津町地域の幼稚園の現状と課題を踏まえ、次のとおり今後の方向性を定める。

#### (1) 今後の方向性

- ・将来的なこども園化を念頭に置きつつ、少人数状態の早急な解消を第一に考え、幼稚園3園を1園に統合する。
- ・統合園の園舎は、「下津幼稚園」を活用する。
- ・園児がスムーズに小学校に行けるよう幼小連携に取り組む。
- ・こども園化するまでの間は、統合園とこじか保育所との連携に積極的に取り組む。

#### (2) 方向性の策定に係る基本的な考え方

##### ①少人数状態の是非について

少人数状態は「一人一人の園児に先生が目が行き届く」といったメリットがあるものの、園児たちの活動や体験の幅を広げて充実した幼児教育を行うためには一定規模の集団を形成する必要がある。

現在、下津町地域の幼稚園は、ほとんどの学年で園児数が10人を下回っており、また、地域全体の出生者数からは今後も大幅な増加が見込めないことから、統合等の方策により少人数状態を解消することが望ましいと考えた。

##### ②少人数状態の解消策について

少人数状態の解消策として「幼稚園3園の1園化」、「幼稚園3園とこじか保育所の統合によるこども園化」、「こじか保育所の廃止による各幼稚園のこども園化」の3案が想定される。

『第2期海南市子ども・子育て支援事業計画』（令和2年3月策定）では、認定こども園の普及に関する考え方が示されているが、幼稚園在園児の保護者や未就園児（0歳～2歳児）の保護者に意見聴取を行ったところ、下津町地域における教育・保育施設の選択肢を残してほしいという声が確認されたこと、また、少子化が急速に進展する中、少人数状態の解消は喫緊の課題であることから、既存の園舎を活用することで迅速に取組を進めることが可能な「幼稚園3園の1園化」により少人数状態の解消を図る。

なお、将来的には、「教育」と「保育」を一体的に提供することにより社会の変化に伴う多様な保育ニーズに対応できる「こども園」を目指すこととし、それまでの間は、統合園とこじか保育所の間で職員の人事交流や合同研修等を行うなど、より質の高い幼児教育の実現に向けた取組を進める。

また、「こども園化」を検討する時期は、こじか保育所の大規模改修時を想定している。（ただし、統合園の園児が更に減少した場合は、前倒しで検討する。）

##### ③統合園の園舎について

統合園の園舎は、「施設の老朽度」、「施設（園庭を含む）の面積」、「統合に必要な整備費用」、「防災」等の観点から総合的に判断し、3園の中で最も建築年が新しく施設や設備の環境が最も整っている下津幼稚園を最適な場所として選定した。ただし、津波浸水区域に該当し防災面において課題があるため、避難訓練や防災教育等にこれまで以上に

取り組む必要がある。

なお、幼稚園舎の新築については、将来的な「こども園化」を見据えた統合であることや建設に多額の費用や期間を要すること、市が保有する土地に適地がないことなどから実現は困難と判断した。

### (3) 方向性の策定に係る検討経過

時期	会議等の名称	内容
R2.6.24	教育委員会 6 月定例会	下津町地域の幼稚園の在り方について検討を始めることを協議
7.22	園長等への意見聴取（下津）	園長及び教務主任から幼稚園の在り方及び幼児教育の在り方について意見聴取
8.3	園長等への意見聴取（加茂川）	園長及び教務主任から幼稚園の在り方及び幼児教育の在り方について意見聴取
	園長への意見聴取（大東）	園長及び教務主任から幼稚園の在り方及び幼児教育の在り方について意見聴取
8.19	教育委員会 8 月定例会	園長等への意見聴取内容を報告
12.4	学校運営協議会（大東）	幼稚園の在り方について意見聴取
12.15	学校運営協議会（下津）	幼稚園の在り方について意見聴取
12.23	学校運営協議会（加茂川）	幼稚園の在り方について意見聴取
12.25	教育委員会 12 月定例会	学校運営協議会での意見聴取内容を報告
R3.1.15 ～1.31	アンケート調査	0～2 歳児の保護者に幼稚園の在り方についてのアンケートを実施
1.19	保護者への意見聴取（大東）	在園児の保護者から幼稚園の在り方について意見聴取
1.20	保護者への意見聴取（下津）	在園児の保護者から幼稚園の在り方について意見聴取
1.21	保護者への意見聴取（加茂川）	在園児の保護者から幼稚園の在り方について意見聴取
1.22	保護者への意見聴取（加茂川）	在園児の保護者から幼稚園の在り方について意見聴取
1.29	教育委員会 1 月定例会	在園児の保護者への意見聴取内容を報告
2.16	教育委員会 2 月定例会	アンケート結果を報告
2.24	教育委員会 2 月臨時会	下津町地域の幼稚園の在り方について協議
3.24	教育委員会 3 月臨時会	下津町地域の幼稚園の在り方について協議
3.30	教育委員会 3 月定例会	下津町地域の幼稚園の在り方について協議
4.26	教育委員会 4 月定例会	下津町地域の幼稚園の今後の方向性を決定
5.20	総合教育会議	下津町地域の幼稚園の今後の方向性について協議・調整

## 4 統合計画

「3 下津町地域の幼稚園の今後の方向性」に基づき、下津町地域の幼稚園3園の統合計画を定める。

### (1) 統合の概要

#### ①統合の内容

加茂川幼稚園、大東幼稚園、下津幼稚園を1園に統合する。

#### ②統合の時期

統合時期は、令和6年4月1日とする。

#### ③統合園の位置

統合後の幼稚園は、現在の下津幼稚園の園舎を利用する。

##### 【下津幼稚園の概要】

位 置	： 海南省下津町下津 477 番地
建 築 年 月	： 平成 19 年 3 月
構 造	： 木造 2 階建て（2 階部分はロフト）
建 物 敷 地	： 1,602 m <sup>2</sup>
運 動 場 敷 地	： 905 m <sup>2</sup>
園 舎 面 積	： 806 m <sup>2</sup>

### (2) 統合の進め方

#### ①統合推進協議会での協議

統合推進協議会を設置し、保護者や地域からの要望等を集約しながら統合に向けた具体的な協議を進める。

#### ②統合に向けた施設整備等

統合によって加茂川地区、大東地区の園児は通園距離が長くなることから保護者の送迎負担を軽減するため「通園バスの導入」を検討するとともに、送迎車両の増加に伴う駐車場内の混雑回避を図るため、必要な整備を行う。

#### ③園児の交流機会の創出

下津町地域の幼稚園では、年に2回程度、3園合同保育を実施することで他園との交流機会を設けているが、令和4・5年度においては、各園の園児同士の関わりがより一層深められるよう、合同保育を中心とした交流活動を積極的に行う。

### (3) 統合に向けたスケジュール

令和4年5月 ～令和5年1月	統合推進協議会を設置し、統合に当たり必要な整備等について具体的に協議
3月	統合の具体案を決定
8月	統合園の園児募集要項の策定
10月	統合園の園児募集
令和6年4月	統合園の開園

※上記スケジュールは現時点の想定